

民主島根

2018年
9.9
第1319号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

共産党の魅力を多くの人々に 民意無視の安倍政権打倒へ

大平前衆議、後藤市議迎え出雲市内で集い

日本共産党の出雲南支部は8月29日、大平喜信前衆議を迎え、集いを開きました。同支部長の藤原利徳さん(75)が呼びかけ、「赤旗」日曜版読者の自宅に近隣住民ら10人が集まりました。

大平氏は、民意を無視する安倍政権の打倒に向け、「共産党は国民のくらし第一の政治に変えるため頑張っています。大事な政治対決が続きます。お力添えをお願いします」と呼びかけました。

党創立96周年記念講演DVDを視聴。交流で共産党について「戦前から国民のために頑張っている」「昔は警戒されていたが、今は誰もそう思わない」などと語られた。



党創立96周年記念講演ダイジェストDVDを視聴して、語り合う参加者。「なぜ『共産党』という名前なの？」など、党への疑問に丁寧に答える大平喜信前衆議(出雲市)

*党創立96周年記念講演ダイジェストは、党中央委員会ホームページからもご覧になれます。



熱中症の実態把握・救済対策を
松江生活と健康を守る
松江生活と健康を守る会は8月31日、命にかかわるような酷暑が続く中で、熱中症の実態把握や救済対策を求めて県に申し入れました。高取謙次会長ら6人が県庁を訪



松江市では8月26日と9月1日の両日、来年の参院選、県議選勝利に

江 参院選・県議選勝利へ 尾村県議を先頭に各地で宣伝

尾村県議は市民アンケートへの協力に感謝を述べ、「みなさんから寄せられた切実な願いを県政や市政へしっかり届け、願い実現に力を尽くします」と訴えました。



購入費5万円の支給が認められるようになりまし
たが、支給が認められる
ケースは限定的です。
参加者は「猛暑の中、
エアコンがない世帯、エ
アコンがあっても電気代

がかるため使用を控える世帯がある」と指摘し、生活保護世帯のエアコン設置状況など実態をしっかりと把握するよう求めました。県の担当者は「検討したい」と答えました。

雲 沖縄県知事選の必勝を 出 福住 参院島根、島根、 選挙区予定候補

日本共産党の福住ひでゆき参院島取・島根選挙区予定候補は8月21日、大国陽介県議、後藤由美市議、後藤勝彦県委員長とともに、沖縄県知事選(13日告示、30日投票)で「翁長知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地を阻止する『オール沖縄』の勝利で安倍政権に怒りの審判を下そう」と訴えました。(写真)

党と後援会 決起集会

9月12日(水)

午後7時～ 県民会館303

弁士

参院議員(比例予定候補)

仁比 聡平



鼓動
77人が犠牲になった2014年8月20日の広島土砂災害から4年を迎えた。被災者にどう向き合うべきかと、ドキュメンタリー映画制作を通して模索していた広島経済大学4年生の磯本高彰さん(21)は今年7月、西日本を襲った豪雨に見舞われた磯本さんは昨年、大学のゼミの同級生と2人で、最も被害が大きかった広島市安佐南区八木3丁目を取材。仲良かった多くの隣人との日々を思いながら慰霊碑のお参りを続ける夫婦、災害前のような絆と賑わいを取り戻したいと住民の防災意識を高める活動を行っている人、亡くなった婦人の家の庭で毎年ヒマワリを育てている人など10人以上の言葉に耳を傾けた▼被災者の言葉や思いが詰まった映画は約1年かけて完成。その1週間後に西日本豪雨が襲った。磯本さんの自宅のある府中町では死者や行方不明者はおらず、磯本さんの自宅は被災を免れた。「岩も土砂もこんなに重たいんだ」と実感しながらボランティアとして土砂の撤去にあたっている▼磯本さんが制作した映画は「蛇王とひまわり」土砂災害の街から(28分)。タイトルは土石流をへびに見立て、復興の願いを込めて育てられているヒマワリにちなんでいる。4人の被災者のほか、復興に取り組む人たちが登場。現在、YouTubeで公開中▼「心の復興にかかる時間は人それぞれ違う。被災した人たちが一歩でも前に進めるような力になれば」と、撮影を通じて感じたことを胸にボランティアも続けるつもりだという。頼もしい後輩の取り組みをとて嬉しく思った。(遠)